

令和7年度 第2回摂津市立別府小学校 学校運営協議会 議事録

令和7年9月11日(木) 18:30~20:45

出席者:

校長、教頭、地域代表、保護者代表、教育委員会事務局職員(オブザーバー参加)、NPO法人担当者(コミュニティ・スクール推進業務CO)

場所:別府小学校

学校の現状

- ・ 「誰もが楽しく幸せに過ごせる学校」を目標に取り組み、保護者からの苦情が大幅に減少。
- ・ 授業参観やキャリア教育などを通じて、学校と地域のつながりを深めている。

コミュニティ・スクールの方向性

- ・ 地域と一緒に子どもを育てる仕組みを大切にする。
- ・ 子どもが大人に認められ、地域に見守られる経験を通じて「居場所」を実感できるようにする。

保険制度

- ・ 行事中の怪我や事故に備えるため、保険制度を見直し中。
- ・ 地域の方も安心して活動に参加できる仕組みを整えていく。

情報発信

- ・ 市の「安心安全メール」終了に伴い、新たな情報発信ツールを検討中。
- ・ 多言語翻訳に対応した「見守りあい」アプリを候補に、導入を検討。

クラウドファンディング

- ・ 地域住民が集まれる「カーペット部屋」整備のため、クラウドファンディングによる資金調達を検討。
- ・ 学校運営協議会を主体に、地域・企業と連携しながら進めていく方向。

委員からの感想

- ・ 「クラウドファンディングは地域の助け合いを現代的に形にしたもの。資金集めだけでなく、地域の協力を引き出す仕組みとして意義がある」
- ・ 「学校運営協議会は子どもを中心に考える場。地域に支えられた子どもは必ず地域を好きになり、将来帰ってきたいと思うようになる」
- ・ 「結果以上に、地域の人と一緒に考え、仲間を増やしていく過程に大きな価値がある」

まとめ

- ・ 学校は改善傾向にあり、地域や保護者との協力でさらに良い環境をつくっていく。
- ・ 安心・安全で子どもたちが「居場所」を感じられる学校をめざし、地域と共に歩んでいく。
- ・ 委員の感想からも「子どもを中心に」「地域と共に」「挑戦を恐れず進める」ことの大切さが確認された。